

ピアブリッジ国際学院自己点検・評価項目表  
実施年月日 2026年3月27日

- A: 達成している  
B: ほぼ達成している  
C: 取り組みは行われているが不十分な部分がある  
D: 取り組みが行われていない/全く達成されていない

1. 教育理念・目的・人材育成像

	観点	評価
1	理念・教育目標が教職員全員に周知され、理解できている	A
2	理念・教育目標が学生に周知されている	A
3	理念・教育目標に基づいた教育が実行されている	A
4	理念・教育目標を明示及び公開している	A
	総合評価	A

2. 運営組織

	観点	評価
1	設置者、校長、主任及び教員は、「日本語教育機関の運営に関する基準」で定められた要件に適合している	A
2	学校経営に関する短期及び中長期事業計画が定められている	A
3	事業規模に応じた組織体制になっている	A
4	各教職員の職務内容と責任及び権限が明確に定められている	A
5	意志決定が組織的になされ、効率的に機能している	A
6	学生募集や在籍管理等に関するデータ管理においてシステム化が整備されている	A
7	生活指導者、入管事務窓口担当者が学生及び全教職員に周知されている	A
8	入国管理局により認められた申請等取次者を配置している	A
	総合評価	A

3. 教育活動

	観点	評価
1	各コースカリキュラムは理念・教育目標に基づいて作成されている	A
2	各コースカリキュラムは教育目標達成に向けて体系的に編成されている	A
3	レベル設定に当たっては、国内および国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にして	A
4	使用される教材は、教育目標に合致したものが選定されている	A
5	教員に対して担当クラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している	A
6	修了の要件が定められ、学生に的確な方法で明示されている	A
7	教育内容に応じて教育用機器を活用している	A
8	授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している	A
9	理解度、到達度の確認が授業実施期間中に適切に行われている	A
10	授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提供している	A
11	リモート（オンライン）授業による指導に対応した学習計画が整っている	A
12	リモート（オンライン）授業を行う際の、学生への告知内容や注意点が定まっている	A
13	リモート（オンライン）授業を行う際に想定されるトラブル対応マニュアルがある	A
14	リモート（オンライン）授業を行うための教育機器や環境整備が整っている	A
15	リモート（オンライン）授業を行うための教員研修体制が整っている	A
16	妥当な診断的評価によるクラス編成・クラス分けができている	A
17	各種教材の出典を明らかにし、著作権法に留意している	A
18	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している	A
19	学習内容、時間割、学年歴、成績判定の基準と方法、学習上の留意点、留學生活上の留意点、入管法上の留意点とこれらについての相談担当者名が記載された文書を、入学時に学生に配布している	A
20	学生との個別面談等により、学生による自己評価について効果的に取り組んでいる	A
21	学生の成績判定基準及び判定方法が明確に定められ、明示されている	A
22	成績判定結果を的確に学生に明示している	A
23	学生の成績判定基準及び方法に沿って、各教員による適切な判定が行われている	A
24	成績判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している	A
25	授業評価を定期的実施している	A
26	学生による授業評価を定期的に行っている	A
27	授業の評価結果が教育内容や教育方法の改善、教員の教育能力向上等の取り組みに反映されている	A
28	教員および職員の役割分担が適切に実施されている	A
29	教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している	A

30	教職員の研修等の実施で教育の質の向上に取り組んでいる	A
31	教職員の評価を基準や方法を明確にし、適切に行っている	A
32	日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している	A
33	卒業生の状況を把握するための取り組みを行っている	A
34	進学先、就職先等での状況や卒業生の社会的評価を把握している	A
35	卒業後の進路について、十分な進路指導教育やオリエンテーションが行われている	A
36	卒業又は修了後の進路は本人の希望に沿ったものになっている	A
37	卒業生及び修了生の進学先での状況を把握できているか	A
	総合評価	A

#### 4. 学生支援

	観点	評価
1	学生相談に関する体制が整備され、有効に機能している	A
2	学生相談に必要なスペースが確保されている	A
3	学生の心身の健康管理や不慮の災害に対する支援体制が整っている	A
4	住居支援・生活環境への配慮は行われている	A
5	定期的に保護者への学生状況の報告や連携をしている	A
6	保護者と連携する際の各国言語に対応した職員が在職している	A
7	進学・就職指導に関する体制が整備されているか	A
8	学生の希望する進路を把握しているか	A
9	入学時からの一貫した進路指導を行っている	A
10	入管業務担当者は、研修への出席等により新しい情報を取得している	A
11	学生の在留資格取得、更新、変更に関する職員が常駐している	A
12	入管法上の留意点について学生に指導している	A
13	帰国を控えた学生に帰国時の手続きについて指導をしている	A
14	在留上、問題のある学生への個別指導を行っている	A
15	過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない	A
16	アルバイトに関する指導及び支援を行っている	A
17	定期的に健康診断を行っている	A
18	各学生の生活状況について定期的に調査し、把握している	A
19	進学や就職等の進路に関する最新の情報を収集し、学生に提供している	A
	総合評価	A

#### 5. 教育環境について

	観点	評価
1	教室内は、十分な照度があり、換気がなされている	A
2	すべての教室は、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている	A
3	授業時間外に自習できる部屋が確保されている	A
4	教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である	A
5	視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器が整備されている	A
6	学校閉鎖時の災害時や非常時の学生への連絡体制が整っている	A
7	学生全員が国民健康保険に加入している	A
8	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めている	A
9	感染症発生時の措置を定めている	A
10	災害時や非常時の避難時の情報伝達体制が整っている	A
11	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定めている	A
12	気象警報が発令された場合の措置を定めている	A
13	災害時に対する避難訓練を定期的実施している	A
14	防災用品が備蓄されている	A
	総合評価	A

#### 6. 学生募集

	観点	評価
1	理念、教育目標に沿った学生の受け入れ方針を定め、年間募集計画を策定している	A
2	教育内容、教育成果を含む最新かつ正確な学校情報を的確な方法で入学希望者に明示している	A
3	応募資格及び条件、選考基準、選考方法を入学希望者に的確な方法で明示している	A
4	募集活動を行う国・地域の法令を遵守した募集活動を行っている	A
5	海外の募集代理人に最新かつ正確な情報提供を行っている	A
6	海外の募集代理人の行う募集活動が適切に行われていることを把握している	A
7	学生情報を正確に把握し、提出書類により確認を行っている	A
8	入学選考を行う態勢が整備されている	A
9	受け入れるコースの教育内容が入学希望者のニーズと合致していることを確認している	A
	総合評価	A

## 7. 財務

	観点	評価
1	財務状況は中長期的に安定している	A
2	予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている	A
3	適正な会計監査が実施されている	A
4	財務情報公開の体制整備はできている	A
	総合評価	A

## 8. 法令遵守

	観点	評価
1	法令遵守に関する担当者が特定されている	A
2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っている	A
3	個人情報保護のための対策がとられている	A
4	入国管理局、関係官庁等への届け出、報告を遅延なく行っている	A
5	自己点検を実施している	A
6	自己点検の評価結果をその後の学校運営に反映させている	A
7	自己点検を行い、公開している	A
	総合評価	A

## 9. 地域貢献・社会貢献

	観点	評価
1	学生のボランティア活動を支援している	A
2	地域と連携して、協力している	A
3	地域共生のための公開講座を実施している	A
4	自治会に参加し、地域社会との連携がとれている	A
5	地域活性化につながる取り組みをおこなっている	A
	総合評価	A